

# クラス通信

麻生本校・札幌駅前校・円山校

# クラスユニック 高校生・中高一貫生

8月号 令和7年8月9日発刊

——保護者の皆さま及び高校生、一貫校生の皆さままでご覧下さい——

この「クラス通信」を通じてクラスユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるよう願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

理事長・校長 福島新四郎

8月もそろそろ半ば、この夏期期間、充実した毎日を過ごせているでしょうか？受験生にとってはこれからよいよ秋、冬の陣？です。そして高1、2生・一貫校の中学生にとっても通学している通常と比べて時間にゆとりある夏期期間でしたが、初めに立てた学習予定の通りに過ごせましたか。勿論当塾の「夏期講習」で学力を磨き、力を付けた人も多々います。その学力、学習力をこれから後の後半学期に向けて「模試」や「学力試験」あるいは「定期試験」の場面でしっかり発揮して下さい

円山校

二学期の過ごし方



高校3年生：以下の流れで二学期の学習を進行させていきます。

6月～8月

- <共通テスト重視型> 共通テスト演習講座
- <2次重視型> 志望校別過去問演習講座

9月～11月

- <共テ・2次対策>
- 単元ジャンル別演習講座
- 「類題演習＋添削」

9月以降の学習は、「国公立2次試験・私大入試」に向けそれぞれの科目の内容の深化と記述力強化にシフトします。10月中旬の「記述模試」（共通テストリサーチでマークテストとのドッキング判定として使用される模試）に向け、9月1日以降から申し込み開始の添削演習講座である「単元ジャンル別演習講座」を受講していくことになります。「単元ジャンル別演習講座」は、AIが学力と志望大学に応じた学習課題と取り組む優先度を明確化、それを克服するための最適な「必勝必達演習セット」を提案してくれます。なおこちらは東進講座となりますので、個人指導やその他のWEB授業受講者は各自に合わせて演習していきます。

高校1・2年生・一貫校生：東進受講生→青色の文字

個人指導受講者→学年により、高2は模試、高1・一貫校生は定期準備をしていきます。

～9月末日

- 講座受講完了/次の定期準備
- 次年度学習設計/模試に向けて

10月～

- 次年度講座受講開始/定期準備
- 同日体験受験(1月)が目標

担任と志望学部を詰め、残り期間を逆算しつつ、いつまでに何をすべきかを考えながら学習する期間です。個人指導受講の生徒も、今後の進路を考え難関大を目指す場合は、自身の学力アップを図るためにも**11/2(日)「全国統一高校生テスト」**を是非受験して下さい。現在の自分の「学力」を客観的に把握できないと、いつまでにどの位の学習内容をこなしていったらよいかという学習期間の逆算ができません。

＜裏面に続く＞

## 麻生校

## 二学期の過ごし方ー「模試」や入試本番の成功につながる定期テストの受け方

定期試験でよい成績を収めることの延長線上に模試での高得点、入試本番の成功があります。

### 定期テストの受け方その1 定期試験で高得点を取るのに難問を解けるようにする必要はない。

例えば数学、定期テストでの難問は出題されてもせいぜい1割、ほとんどは教科書レベルや傍用問題集のA～B問題レベルです。このレベルを確実に解けるようにしておけば「模試」や「大学入試の本番」でも通用する学力を身に付けていくことになるのです。ただ、定期テスト勉強を通じて「身に付ける」レベルまで学習するには相当の反復が必要です。

### 定期テストの受け方その2 定期試験の準備は、未着手分野を残さない。

よく出題される範囲を、分野ごとに理解を完璧にしてから次の分野に取り掛かりたがる人がいますが、限られた時間の中、複数教科・複数分野の学習ができなくなるので、まずは教科書・傍用問題集の例題→教科書の練習問題&問題集のA問題→教科書の章末問題&傍用問題集のB問題というように進めること。

1学期のテストで失敗した人もいると思いますが、この二学期、準備を入念にしてリベンジをしましょう。

## 札幌駅前校

——夏休みも終盤、今後夏に取り組んだことをさらに発展させていく時期になります。——

**【高3生】**一般受験を目指す人は、今後模試の機会が格段に増えます。一つ銘記してほしいことは、「模試の結果に一喜一憂しない」ということです。本当の意味で結果が問われるのは本番のみ、それ以外は、途中経過でしかありません。本番で結果を出すためには、それまでの過程でどう取り組んだかが大事です。そのため、結果をきちんと受け止めて、自分のたてた予定を淡々と継続しましょう。

模試結果は今までの学習の結果でもあります。「良かれと思っていた勉強法が、実は効果的ではなかった」、「復習にかける時間が不十分だった」等模試結果を検証し、今後の学習に反映させましょう。

どの教科も、得点できなかった個所については原因を特定し、今後どのように学習していくのか具体的に決めましょう。どうしたらいいか分からずの人は担任まで相談しに来て下さい。

推薦選抜、総合型選抜を目指す人は、休み明けの定期テストが重要になります。この結果で評定や出願の可否が決まります。これらを目指す人にとってこの時期がいわば「受験直前期」です。時期的に周囲の雰囲気が「直前期モード」でなく、何となく実感が湧かず、対策に専念できないという人は、学校が終わったらすぐにクラスに直行し、勉強のモチベーションを保ちましょう。

**【高1、2生・一貫校生】**まずは定期テストに向けて準備を始めましょう。定期テスト対策学習を通して習得したことは、入試の基礎力になります。受験勉強の第1歩は基礎力。日常の学習が試験範囲になる定期テストは当然基礎力養成になります。ひいては入試に直結しているという意識になれば、定期テストへの取り組み方も違ってくるはず。推薦選抜、総合型選抜を目指している人は、評定UPを目指しながら、日々の学習、目の前の定期テストに向けて取り組んでいきましょう。

**トピックス：**高卒・高3受験生向けの「理科合宿」を今年も8月4日（月）から南区駒岡にある「駒岡保養センター」で5泊6日行いました。毎晩行われる「確認テスト」も含めて朝起きた時から寝るまでの勉強スケジュールの中、テストに落ちた場合は寝る間も惜しんで翌朝の再テストに向けて勉強を頑張るという毎日を過ごし文字通り、気力と体力ぎりぎりの勝負、その先に難関と言われる大学合格があります。

<8月・9月の予定>右の「QRコード」からHPで。

緊急時連絡はラインでお知らせ致します。

円山校 ☎011-613-7755

麻生本校 ☎011-716-7162

札幌駅前校 ☎011-299-6030

R7年8・9月円山校高校部



R7年8・9月麻生本校高校部



R7年8・9月札幌駅前校高校部



R7年8・9月円山校中学部

